

2022年5月12日
SCSK株式会社

自社開発 ERP のデータベースを Oracle DB から MySQL へ移行 ～クラウド・データベース・マイグレーション・サービスを活用した確実な移行を実現～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、執行役員 社長 最高執行責任者:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、自社開発 ERP「ProActive(プロアクティブ)」のクラウドサービス化に伴い、2020年5月26日に発表^{※1}した「クラウド・データベース・マイグレーション・サービス」(以下 本サービス)を活用し、従来のOracle DBからMySQLへの移行を実現しました。

今回の対応を通じて、本サービスの有効性を実証するとともに、移行プロセスにおける定義のさらなる明確化、移行ノウハウの再集約を実施することで、本サービスを利用した異種 RDBMS 間の移行の効率化を向上させました。

※1 「クラウド・データベース・マイグレーション・サービス」に関するプレスリリース

<https://www.scsk.jp/news/2020/press/product/20200526.html>

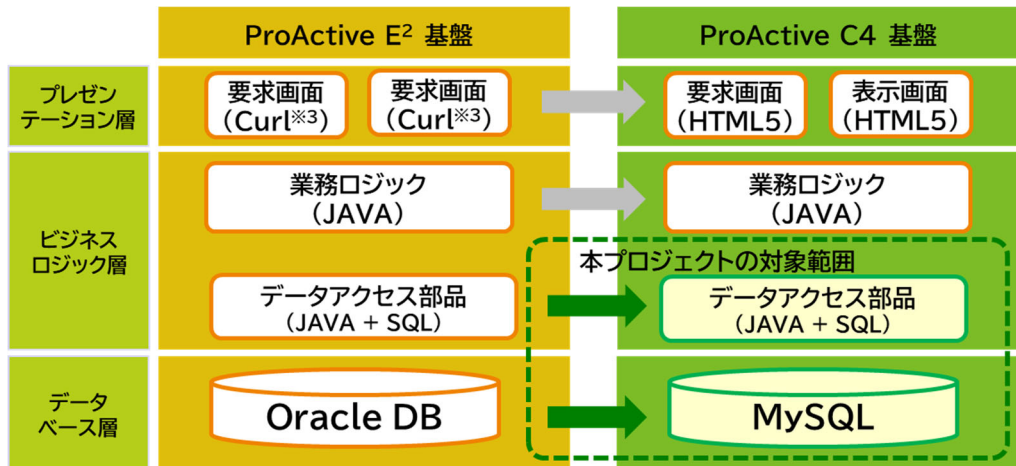
1. 背景

クラウド環境へのリフト&シフトとともに、RDBMS の変更を検討するプロジェクトが見られます。しかし、RDBMS の変更は技術的なハードルも高く、移行ノウハウも少ないため企画・計画ができない、あるいは想定を大きく上回るプログラム修正が必要なことが明らかとなり途中で断念するケースも多く見受けられます。その理由は、Oracle DB はオプティマイザ^{※2}が優れているため、そのまま移行を実施すると他のデータベースで安定した性能を確保することが難しいことや、データベースの違いによる出力結果の不一致の解消が難しいためです。そのため、特に、大規模システムにおける Oracle DB から他のデータベースへの成功事例は多くありません。

自社開発 ERP「ProActive」の新シリーズとなる「ProActive C4(プロアクティブ シーフォー)」の開発においては、社内の基幹システムで採用するなどの実績が豊富であったことや、より価格競争力を強化するために、データベースにMySQLを採用することを決定しました。そこで、前シリーズで採用したOracle DBからMySQLへの変更対応について、本サービスを活用し、RDBMS の移行を確実にかつ計画通りに完了することができました。

※2 オプティマイザ … 対象の設定や構造などを調整し、より好ましい状態に組み替える最適化を行うためのソフトウェアや機能のこと

●移行対象範囲



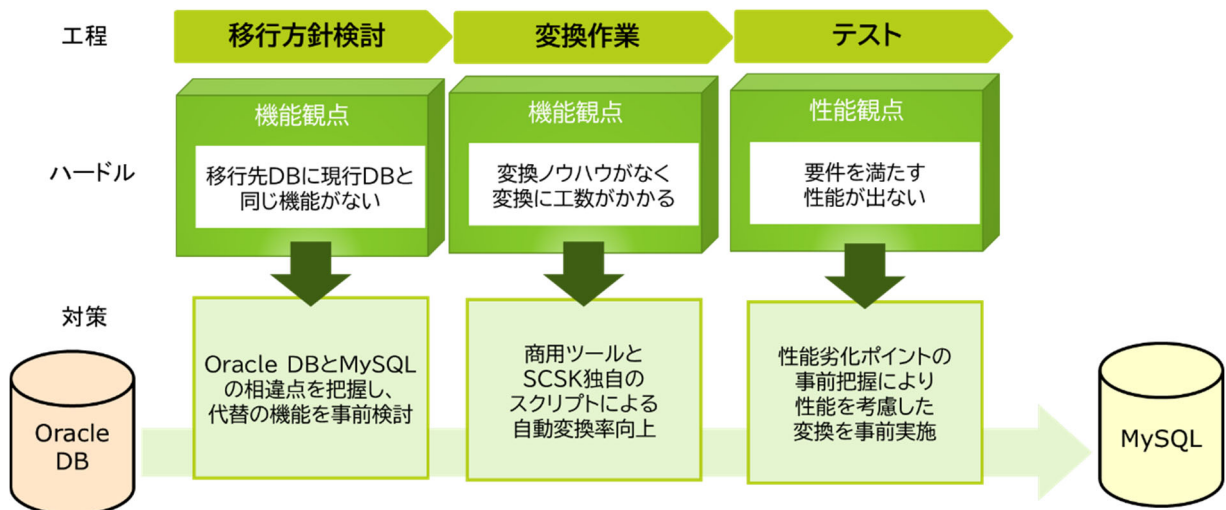
●移行規模

オブジェクト種別数:8 種類
 オブジェクト総数:約 3, 300 個

2. 効果

①移行ハードルに対する事前把握

- RDBMS の移行は、移行元と移行先の双方のデータベース技術を理解した上でマイグレーションを確実に実施するために、何を検討すべきか判断する必要があります。さらに、移行の各工程において事前に考慮すべきハードルが存在します。今回の対応では、マイグレーションを実施する際の工程と検討事項を明確化し、各工程におけるハードルを事前に把握した上で、案件を遂行しました。



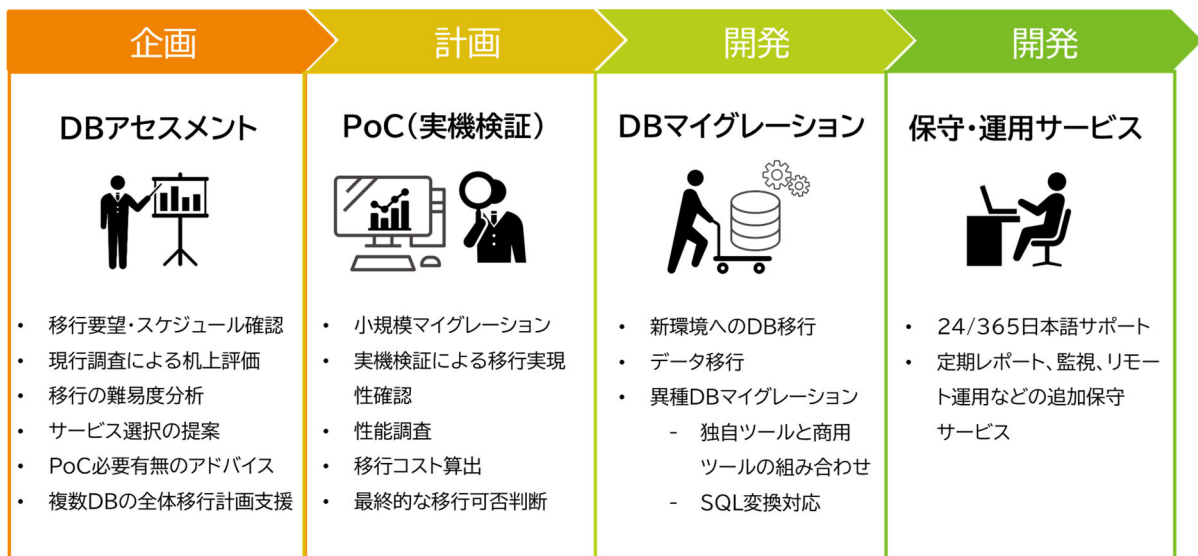
②計画的な移行の実現

- ①で把握したハードルに対して事前に対応案を準備したことで、精緻な計画を立案するとともに、工程の戻りや改修コストの追加をすることなく計画に沿って遂行しました。

- 本対応における、商用のデータベース移行ツールによるオブジェクトの変換率は55%でした。残り45%の難易度が高いオブジェクトの変換は、独自に作成したスクリプトによる機械的変換や本サービスのノウハウを活用し、効率的に実施できたことで、計画通りに移行を完遂しました。

3. クラウド・データベース・マイグレーション・サービス概要

クラウド環境のグランドデザインからデータベースの選択・移行を、コストを抑え確実かつスピーディーに実現するサービスです。



4. ProActive について

SCSKのERP「ProActive」は、29年間、6,300社、280の企業グループを超える導入実績を誇っています。保守サポートの終了が無い「超寿命」、グループ導入を支える豊富なノウハウと機能、国産ERPならではの法改正対応と高い業務適合率など、さまざまな特長を有しています。

<https://proactive.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

【サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ

サービス開発推進部 ソリューション推進課

E-mail: cbdc-all@ml.scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 栗岡

TEL:03-5166-2169

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。